

# かきのき

2016年  
8月号

～ 目 次 ～

- ◇ 新しい本のご案内
- ◇ 特集：ニッポンの記憶
- ◇ こんな本あんなほん
- ◇ お父さんの読み聞かせ
- ◇ きょうは何の日
- ◇ 柿木図書館カレンダー
- ◇ 掲示板

杉並区立柿木図書館  
杉並区上井草1-6-13 ☎03-3394-3801

杉並区立図書館ホームページ

<http://www.library.city.suginami.tokyo.jp/>

## ◇新しい本のご案内



**1%の力** 鎌田 實：著／河出書房新社  
自分、自分、自分、の時代。今こそ誰かのための「1%の力」が必要だ。みんなが1%生き方を変えるだけで、個人も社会も幸福になる。1%が人生を変えた、本当にあった話を集めて紹介する。

**21世紀の戦争と平和** 孫崎 亨：著／徳間書店  
きみを知るべき日米関係の真実  
戦争に突き進む、わたしたちの日本を止めるには？集団的自衛権、自衛隊、中国・北朝鮮への対処…。元外務省・国際情報局長がタブーに切り込み、マスメディアが伝えない日本の危機を、高校生でも読めるように解説する。

**書店と民主主義** 言論のアリーナのために 福嶋 聡：著／人文書院  
「紙の本」の危機は「民主主義」の危機だ。氾濫するヘイト本、ブックフェア中止問題など、いま本を作り、売る者には覚悟が問われている。書店界の名物店長による現場からのレポート。

**ハリネズミの願い** トーン・テレヘン：著、長山さき：訳／新潮社  
自分のハリが大嫌いで、つきあいの苦手なハリネズミが、誰かを招待しようと思いたち、招待状を書き始める。でも、手紙を送る勇気が出なくて…。臆病で気むずかしいハリネズミに友達はできるのか？深い孤独によりそう物語。

**受難 Cross** 帯木蓬生：著／KADOKAWA  
韓国・珍島沖で起きた大型フェリー沈没事故と、別の事故で溺死したiPS細胞で蘇生された少女。ふたつの事象をつなぐ真実と、闇に隠された国家陰謀とは。現役医師作家が圧倒的スケールで描く。

**戦後70年の日本資本主義** 渡辺 治ほか：著／新日本出版社  
戦後日本資本主義の歩みをふりかえりつつ、日本資本主義の特徴、今日における対決点、日本の民主的発展に必要なものを探る。

**憲法9条とわれらが日本** 未来世代へ手渡す 大澤真幸：編著／筑摩書房  
憲法9条の根本義とは何か、これから日本はどうあるべきか。強靱な思索者たる4人が、一般に流布する「護憲／改憲」の枠には収まらない、ラディカルな提言を行い、現実主義者によっては展開し得ない「これから」を考える。

**小尾俊人の戦後** みすず書房出発の頃 宮田 昇：著／みすず書房  
敗戦の年にみすず書房を立ち上げた小尾俊人。フランクル「夜と霧」の出版に至るまでの試行錯誤と奮闘、時代と向き合う人となり、親交が深かった著者が描く。

**沖縄戦後民衆史** ガマから辺野古まで 森 宣雄：著／岩波書店  
米軍による占領と軍政、日本「復帰」後も変わらない基地負担や米兵の犯罪…。今も続く差別と苦しみに向き合いながら、自力で民主主義を勝ち取ってきた沖縄のひとびとの戦後史を、無数の声を通して生き生きと描き出す。

**死すべき定め** アトゥール・ガワンデ：著、原井宏明：訳／みすず書房  
死にゆく人に何ができるか  
私たちは豊かに生きることに精いっぱい、「豊かに死ぬ」ために必要なことをこんなにも知らない。現役外科医にして『ニューヨーカー』誌のライターである著者が描く、迫真の人間ドラマ。

**新聞と憲法9条** 「自衛」という難題 上丸洋一：著／朝日新聞出版  
非武装を唱える憲法を持ちながら、米軍駐留・再軍備の道を選んだ戦後日本。新憲法誕生、朝鮮戦争、自衛隊発足、砂川事件…。9条からみた戦後史を綴る。

**私の消滅** 中村文則：著／文藝春秋  
重度の鬱病にかかった女性を愛した精神科医。彼女を死なせないために施した治療は、記憶障害を引き起こす危険を伴うものだった…。「悪意」が世の中に及ぼす影響を突き詰めた衝撃作。

**日本はなぜ、「戦争ができる国」になったのか** 矢部宏治：著／集英社インターナショナル  
戦争になったら、日本軍は米軍の指揮下に入る。1952年に当時の吉田首相が口頭でむすんだ「統一指揮権密約」。日本の戦後史における最後の密約である、日米間の隠された軍事的構造をわかりやすく説明する。

**リベラル再起動のために** 北田暁大ほか：著／毎日新聞出版  
リベラルや左派と目される気鋭の論客たちが、政治経済、国家と憲法、外交問題などのテーマをもとに、表層的な分析にとどまらず、現状を分析。安倍自民に対する対抗軸のあり方を徹底的に問い直す。

**無水鍋で焼くおいしいパン** 萩山和也：著／文化学園文化出版局  
鍋に入れて火にかけるだけオープンいらずの本格パン  
密閉度が高く、熱伝導率もよいためオープンのような状態になる無水鍋。パン・オノア・レザン、プリオッシュといったハードパンから、ミルクブレッドなどのソフトパンやピザまで、無水鍋で焼くパンのレシピを紹介します。

**世界史の大転換** 常識が通じない時代の読み方 佐藤 優ほか：著／PHP研究所  
想定外の出来事が次々に起こる世界。国際社会の表裏を知り尽くした著者らが、なぜいま世界的な大転換期が到来しているのか、そこでとるべき日本の生き残り策は何かを鮮やかに解き明かす。

## ◇特集：ニッポンの記憶

8月は終戦や原爆・空襲など、先の大戦に関するニュースや番組がさまざまな形で放送されます。先人たちの平和に対する思いとは…。



### 作家と戦争

／河出書房新社

太平洋戦争 70年

作家と戦争の関わりを、文学者の戦争責任問題を中心に、総合的に考える。川村湊×成田龍一の対談、吉本隆明、吉野孝雄、陣野俊史らによる評論、戦争文学アンソロジーなどを収録。



### 昭和天皇の戦後日本

豊下楯彦：著／岩波書店

＜憲法・安保体制＞にいたる道

日本の敗戦により、天皇制の存続が危ぶまれるという未曾有の危機に直面した昭和天皇は、いかなる行動に出たのか。日本の戦後体制の形成プロセスに、天皇が能動的に関与していった事実を、「昭和天皇実録」を駆使して抉り出す。



### 八月十五日の神話

佐藤卓巳：著／筑摩書房

終戦記念日のメディア学

なぜ、8月15日が終戦記念日なのか。この集合的記憶の編成プロセスを「玉音写真」、学校教科書の終戦記述等から徹底検証。世界のVJデイ（9月2日）と向き合い、戦争と平和を論じた3篇を増補したメディア史研究の金字塔。

### 知る沖縄

木村 司：著／朝日新聞出版

豊富な写真・図解ですぐに丸わかり

日米地位協定、基地と経済、普天間移設の経緯など、沖縄と米軍基地の基礎知識を解説。さらに、数字や証言をもとにした沖縄戦の実態、占領下から本土復帰への流れ、沖縄のこれからについて、豊富な写真や図とともに説明する。

### 戦後70年につぼんの記憶

橋本五郎：編、読売新聞取材班：著／中央公論新社

空襲、疎開、被爆、引き揚げ、抑留と復員。別離や飢え、慈しみと裏切り…。戦中戦後の体験をつぶさに語る各界著名人のインタビューに加え、多くの写真や図表を収録。

### 核の戦後史

木村 朗、高橋博子：著／創元社

Q&Aで学ぶ原爆・原発・被ばくの真実

原爆投下の経緯・背景と核の戦後史の見方について重要なポイントを解説。さらに、アメリカの公文書などを元に、核戦略の核心、放射能汚染や被爆者に対する日米両政府の対応の実態について明らかにする。

### 「戦争」で読む日米関係100年

箕原俊洋：編／朝日新聞出版

日露戦争から対テロ戦争まで

2つの大戦、朝鮮戦争、冷戦、ベトナム戦争、対テロ戦争…。日米関係は「戦争」のたびに異なる局面を迎えてきた。協調、摩擦、深化。さまざまな戦争・対立を通じて、日米関係の変遷を読み解き、その将来的展望を描き出す。

### 墮落論

坂口安吾：作、松尾清貴：現代語訳／理論社

義士も聖女も墮落せよ。そこから戦後日本が始まる。敗戦直後、日本中を熱狂させた坂口安吾の「墮落論」ほか全5作品を、読みやすい現代語に訳して収録する。詳しい解説も掲載。

### GHQ知られざる謀報戦

新版・ウィロビー回顧録

C.Aウィロビー：著、延 禎：監修、平塚証諸：編／山川出版社

日本降伏、ソルゲ事件、朝鮮戦争…。マッカーサーの右腕だった情報参謀が、占領下の東京で繰り広げられた壮絶なインテリジェンス戦争の内幕を明かす。



### 華北駐屯日本軍

櫻井良樹：著／岩波書店

義和団から盧溝橋への道

盧溝橋事件の発火点となった日本の華北駐屯軍は、もともとは国際軍事的性格を持つものであるとともに、戦ってはならない軍隊であった。華北駐屯軍が創設から盧溝橋事件まで、なぜ、どのように変質したのかを探る。

### 機密解禁文書にみる日米同盟

末波靖司：著／高文研

アメリカ国立公文書館からの報告

### 戦後70年日本人の証言

文藝春秋：編／文藝春秋

### 吉村昭 昭和の戦争5 沖縄そして北海道で

吉村 昭：著／新潮社

Akira Yoshimura Complete Works on the War of Showa

### なぜ日本は「大東亜戦争」を戦ったのか

田原総一郎：著／PHP研究所

アジア主義者の夢と挫折

### 戦争はどのように語られてきたか

河出書房新社編集部：編／河出書房新社

2016年5月27日

原爆を投下した唯一の核兵器使用国の国家元首として、バラク・オバマ大統領が献花。現職のアメリカ大統領が被爆地へ訪れることは、戦後71年たった初の出来事である。

## ◇こんな本あんなほん

### 映画の戦後

川本三郎：著／七つ森書館  
やくざを演じた高倉健と菅原文太の相次ぐ死、ダーティ・ヒーローを演じたクリント・イーストウッド、アメリカを揺り動かした赤狩りとヴェトナム戦争…。川本三郎が綴る日本とアメリカの戦後映画史。

### ヒラリー・クリントン本当の彼女

カレン・ブルーメンタール：著、杉本詠美：訳／汐文社

### あなたに金持ちになってほしい

ドナルド・トランプ、ロバート・キヨサキほか：著、白根美保子ほか：訳／筑摩書房

### アメリカの歴史を知るための63章

富田虎男、鶴月裕典、佐藤 円：編著／明石書店

### 真珠湾からバグダットへ ラムズフェルド回想録

ドナルド・ラムズフェルド：著、江口泰子ほか：訳／幻冬舎

### 尖閣問題の起源

ロバート・D. エルドリッチ：著、吉田真吾、中島琢磨：訳  
沖縄返還とアメリカの中立政策  
／名古屋大学出版会

### 日中関係史 I 政治

1972-2012

高原明生、服部龍二：編／東京大学出版会

### 崩壊朝日新聞

長谷川 熙：著／ワック

### 切手が伝える第二次世界大戦

メディアとしての切手

印南博之：著／彩流社

### 歴史和解は可能か

東アジアでの対話を求めて

荒井信一：著／岩波書店

### 戦争特派員

ゲルニカ爆撃を伝えた男

ニコラス・ランキン：著、塩原通緒：訳／中央公論新社

### NATO北大西洋条約機構の研究

米欧安全保障関係の軌跡

金子 讓：著／彩流社

### 日米戦争を起こしたのは誰か

ルーズベルトの罪状・フーバー大統領回顧録を論ず

藤井巖喜、稲村公望、茂木弘道：著／勉誠出版

## ◇お父さんの読み聞かせ



### わすれられないおくりもの

スーザン・バーレイ：作・絵、小川仁央：訳／評論社  
賢くて何でも知っているアナグマは、いつもみんなから頼りにされ慕われていました。でも、秋の終わり、年取ったアナグマは自分の死を悟ります。そして、ある夜、「長いトンネルの向こうに行くよ、さようなら」という手紙を残して死にました。

かけがえのない友を失ったみんなは、どう、悲しみをのりこえていくのでしょうか…

### へんてこパンやさん

Goma：作・絵／フレーベル館  
きつねとねずみさんの「へんてこパンやさん」は毎日朝からフル回転で開店準備。みんなを幸せにするおいしい「へんてこパン」を作るため、ふたりは生地作りにも余念がありません。なにが「へんてこ」なのかって？  
この絵本に登場するパンは、すべて本物？実際に作られた創作パン。巻末にある解説レシピで「へんてこパン」作ってみてネ。

### ももんがもんじろう

村上康成：作／講談社  
もんじろうは、ひとりぼっちのモモンガ。まだ空を飛んだことはありません。木の枝に先、飛びたいけれど、ドキドキ、ドキドキ。でも、ふいに風がもんじろうを押しだしたもんだから、夜のやみに向かって飛んでしまいました。ヒュー～。バン！はて、着地したのはどこだった？もんじろう、ドキドキの冒険飛行が始まります。

## ◇きょうは何の日

### 8月6日「広島平和記念日」

1945（昭和20）年8月6日午前8時15分、米軍のB29爆撃機「エノラ・ゲイ」が、広島市上空で世界初の原子爆弾「リトルボーイ」を投下。

### 8月9日「長崎原爆の日」

1945（昭和20）年8月9日午前11時2分、米軍のB29爆撃機「ボックスカー」が、長崎市上空で原子爆弾「ファットマン」を投下。

### 8月15日「終戦の日」

1945（昭和20）年8月14日、政府はポツダム宣言を受諾し、翌15日の正午、昭和天皇による玉音放送によって日本が無条件降伏したことが国民に伝えられた。  
1982年4月の閣議決定により「戦没者を追悼し平和を祈念する日」となった。



## ◇柿木図書館カレンダー



8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



…休館日

下線…午後5時閉館

### 【開館・貸出時間】

月曜～土曜…午前9時～午後8時

日曜・祝日…午前9時～午後5時

### 【休館日】

第1月曜日・第3木曜日

(祝日と重なったときは翌日が休館日となります。)

## ◇ 掲 示 板

第63回 阿佐谷七夕まつり： 8月5日(金)～9日(火) 10時～22時  
パールセンター商店街やすずらん通り商店街に七夕飾りと個性あふれるキャラクター作品などが飾られます。

[場所]JR阿佐ヶ谷駅周辺の9商店会

東京高円寺阿波おどり： 8月27日(土)、28日(日) 17時～20時  
60回の節目を迎える高円寺阿波おどり。踊り手が軽快なお囃子に乗って踊ります。「ヤットサー」「あ、ヤット、ヤット」一度聞くと忘れない不思議な魅力が「掛け声」にはありませんか…。

[場所]JR高円寺駅・東京メトロ丸ノ内線新高円寺駅周辺の各演舞場

### 図書と雑誌のリサイクル：

保管期間の終了した図書や雑誌をご希望の方に差し上げます。(お一人様5冊まで)